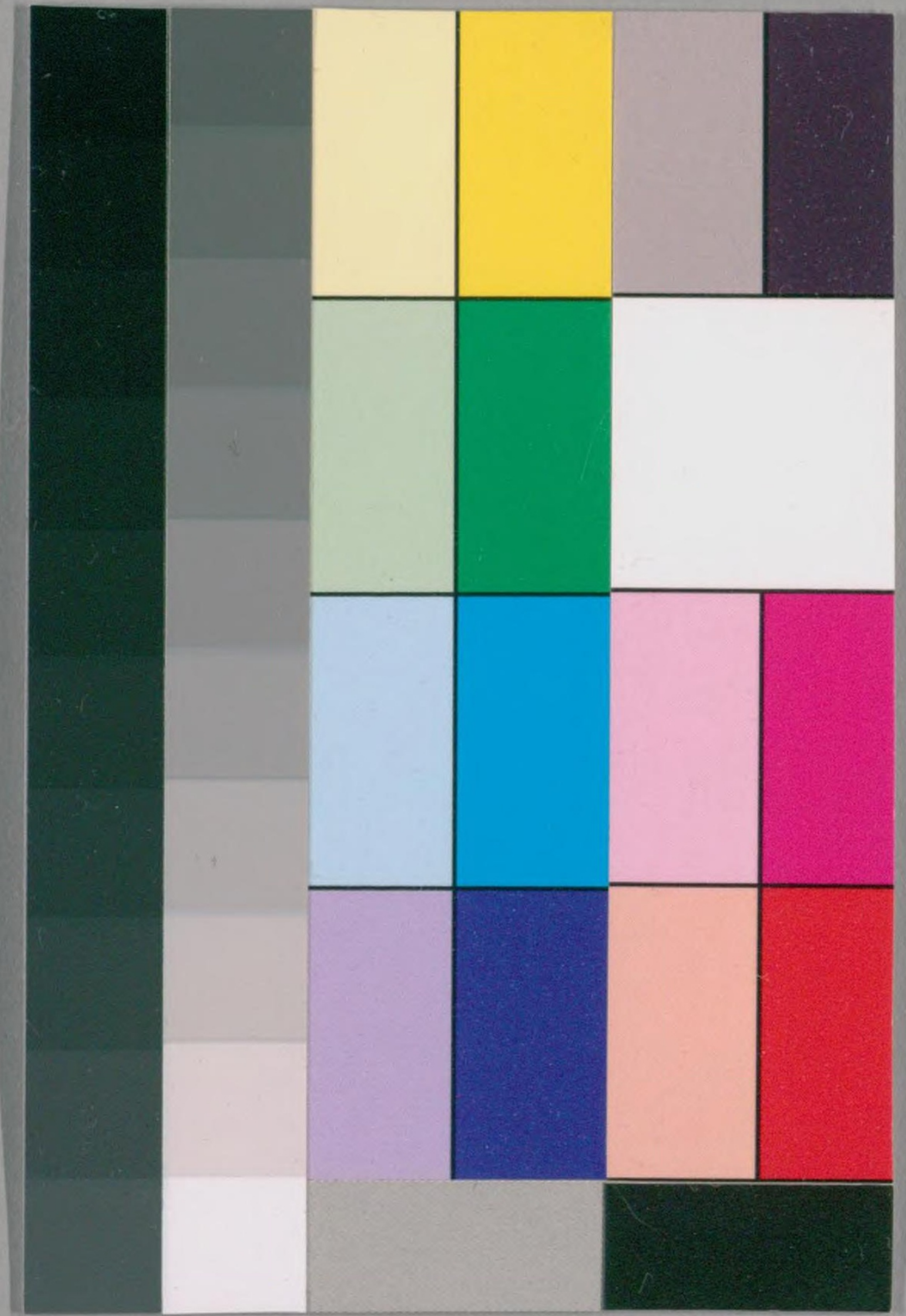


185
20
133

花虫類
四十六種
花形之圖
色付ケ

地錦抄
附録
一



国立国会図書館 タイトル『地錦抄 16巻附録3巻』 請求記号 185-133

ガラス使用

地錦抄附録卷之一 目録

△草花の類

浅黄福寿

八重福寿

三角草

忍草

南部細草

杜若

ちりめ草

馨草

風露草

雪持草

花形様草

駿馬様

節分草

大莖草

物鮮草

梅蕙草

沈紫草

紅裏草

坂原草林納本

須濱草

薄葉細草

橘紅草

雪興

藤裏草

紅柚草

地錦抄附録卷一



源氏様

南京小様

嘆分様

瑠璃蝶

郡内風露

貝母

巴戟天

遠志

鬼臼

人參

延胡索

黄芩

百部

秦艽

金花草

水蘭

三柏

花鱧

積雪草

桐壺菖蒲

放下僧

一文字

五葉絞

龍田百合

崑崙草

狸く袴

夏旋草

孔雀丸

雪山蘭池

獅子牡丹

十五城

時計草

地錦抄附録卷之一

△草花乃部

浅黄福寿草

八重後楽草

つねに福寿草のどく
りく二重大輪花のど
う寸志ろく美花をこて
あまに魚小のりゆる
ひを遊く後ハ白々と
かりゆく白福寿草の
つねに福寿草のどく

花子の後楽草のどく
めて花飛りりると葩を
くやあしりかきぬ葉の
おろくかきりなる物ハま
とりのどくおたまはど
あしむ中ハ黄しど
まきあり初春用く

地錦抄附録卷一

三

一葉一輪づつ用く花白く梅花のくちら歌中よりとよあけ出〜五葉の法を穿く少〜葉が葉こいふ花葉少〜と小葉書枝内にいさだよくながらぬ孫美せり

節分草

花形いちばんさうに似たり一葉一輪づつ用く花白く梅花のくちら歌中よりとよあけ出〜五葉の法を穿く少〜葉が葉こいふ花葉少〜と小葉書枝内にいさだよくながらぬ孫美せり

忍草

花せんやうものど〜とりのちが

漢漢草

花白く小葉二月初此咲多形枝の漢漢乃こら〜青く彩こありて葉枝多々

三角草

花が菊のど〜白く〜二月初めり

大莖草

花す〜葉中似〜大葉うち白く〜葉の補助を葉に切りの〜二月咲け程幅葉が〜よりある〜とす

小杜若

花形が〜三月上旬此咲葉の〜紫と黄の二色あり

南船細草

花うすむ〜

地錦抄 附録 卷一



花形すみなごらに似る
あまきしんしんらんらん

勝紅草

花形丸らん
さしれどく

まて葩あはく大らん
ま葩づまごらまて
花形丸らん
はじまのさ軽治まて
紫もまごらんらん
目眩わやかりそ
勝おまごらとらん
三月上旬用く葉あり

くむく花さきく

おまごらんらん

紫乃茎はるる

あまき白く毛をすた

まら

ちぎらるる

花形丸葩
切りさして葉

かぬのどく

ま物に似くかさ

三月上旬咲葉の

葉の形又五葩花の

あまき白く

黄をかるものすまき

花あまごらより

十の比初を

あまごら

ありまて

つり花を

て咲く茎

くむあま

はくま

いれ

かま

す

朝鮮酢醬

花形丸らん

り切を

りごとく

は

もあ

あま

あま

か

鷲尾

花形丸らん

齒小細くを定まるとに
足形なりし葉も地へ
散てまげりおとしは
みもちくまぬくうへ
むくくはるるり秋ら
おきすりまことまき
おひるむたはり

雪興

風車ゆがたのせんやうと
花形はながた入まきまきり
もねくううねも白あ
ころまきくまきん
雪後ゆきごたあきくはらう
ごとくくはらう

四月嘆

花形草

花形はながた花形はながたたふ
天南星てんなんせいに似く
又りりまきる物くたの
五葉ごはあまののけは方ま
まはどの葉はまき内ち
あはれどくはく花
中よりぬきまきる雪
の如く白くをの上おま
のびくく花はなあうて内い守
葉まかちまき花あま

地母あて青くこのの
どく一西く形後かたごよく
のびまきり花あま
咲くつがまきく三月
初めあろより咲か
さうやく久くくま
うく秋結あきむすま
咲かたり

梅葉草

花白く一所ふ
多きを集りて
四月嘆しがつたん葉大くはりく
ほくあけてはな花
あきくく紙をわく
むくはなはなくく
かりりたるものあり

風露草

花形はながた梅花ばいげを
色は葉
四月嘆しがつたん葉た切り
あやうくく女の花
うり知葉ちはすりくわり
く具ぐまきく花
に花はながたより

濃紫様草

梅さうの色の
色すくく



あぶらぎの葉は花の如し
ついでに花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり

紅軸櫻草

花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり

藤裏櫻草

花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり

源氏櫻草

花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり

咲分櫻草

花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり

瑠璃蝶草

花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり

駿馬櫻草

花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり

紅裏櫻草

花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり

南京小櫻

花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり
花の如くなり



花の内に梅の花
のどくくに葉だ

貝母 花形ゆわめどく
六葩一そり付白く

白く一まをとり下へ
向て野をもの内に
は葉のこの星あつり二月
中ゆく

鬼臼 草たちのびそく
赤の葉七八枚車

乃てうめぐりけは
葉の下に葉あつるを
花ののころちやくか葉
四つを合梨花下へ向
て開く二月候

延胡索 花形けえき
似しくむら

葉をけえきんを葉が
一似そり二月上
旬候

秦艸 花形と葉形も
ふと多に似たの

ちこうを志はくすま
葉をく切りたあり

花の内白くほりり葉
うこ白やとらふべ

かりりつら物と二月候

郡内風露 花形梅志
ころあんきん

三月中旬旬候

巴戟天 花形も
花の下の葉を

小葉もあつるを

遠志 花形も
極て小やん

三月さく葉あつるは
あの葉に似く地不
り志あつる

人参 葉形も
似しく切

ちう付白く

月候七月

ふまのち葉が

黄芩 葉のび
志あつる



地錦抄附録3卷

紫形より物の後の如く
くは花ありて花紫

をんぐー二月咲

握々袴 きんげのぎく
きんげのぎく

冬よりゆきまのち

より花の寸にたが

二月咲花下へ向てう

す黄らなり又のま

かりもあつてなるお

ちあつたりとまのま

いろくまなり

積雪草 つゆくさ

つゆくさ

生ずる地毎にありて

青紫花肉小者白

あつたり見事春に冬

かきむ花は三月うす

葉のうすい形一葉

葉葉せりつらなり

つゆくさ

放下僧 たげそう

たげそう

花の葉をもち

下へ向て罪く意の

紫内らたひくはつり

うまき花はうす

つゆくさ

崑崙草 こんろんそう

こんろんそう

色紫花は白く二月咲

龍川百合 りゅうがわいりやう

りゅうがわいりやう

花の葉はうす

うすく開く色花若た

半に五月咲

相壺 あひう

あひう

花の葉はうす

形はたつらなり

て葉は白地は紅紫

のうすき花はうす

入り白くは花はうす

おはあははははは

乃びうすき花はうす

おはあははははは

乃びうすき花はうす

おはあははははは

地錦抄附録3卷



一文字

花をうぶさう
花をかきわり
雙斗 花のさかすか

一文字ののりて用く
花をよみまて花をよ
まにひらき地を月嘆

五葉後

花をねづてそ
うす花地よおひらきま
まをうらりーがりの
花形をまひらき月嘆

孔雀丸

かざりーこがり
まらう花くはくを
中上 花は土枝ま
花像見身 小枝まらん

花をうぶさう 曲尺
まをのちまをま
まをうらりせんか
あーい何くつやま

く枝をうらり出花を
上こががかんあえす
五月さく

獅子牡丹

あんーまら
花をうぶさう
花をかきわり
花をよみまて花をよ
まにひらき地を月嘆

十五城

らんぢやぶるなり
花をうぶさう
花をかきわり
花をよみまて花をよ
まにひらき地を月嘆

雪山

あんまらなる花
くま白せんやうま
五月末さく

地錦抄 附録 卷一



地錦抄 卷一

かきつばた



あざみ



地錦抄 卷一





すずくさ

あざみ草

あざみ草



あざみ草

あざみ草

あざみ草

あざみ草





花の錦

花の錦



花の錦

花の錦



地錦抄 附録 卷一

大葉のつぼみ



大葉のつぼみ

大葉のつぼみ
すみじき
草



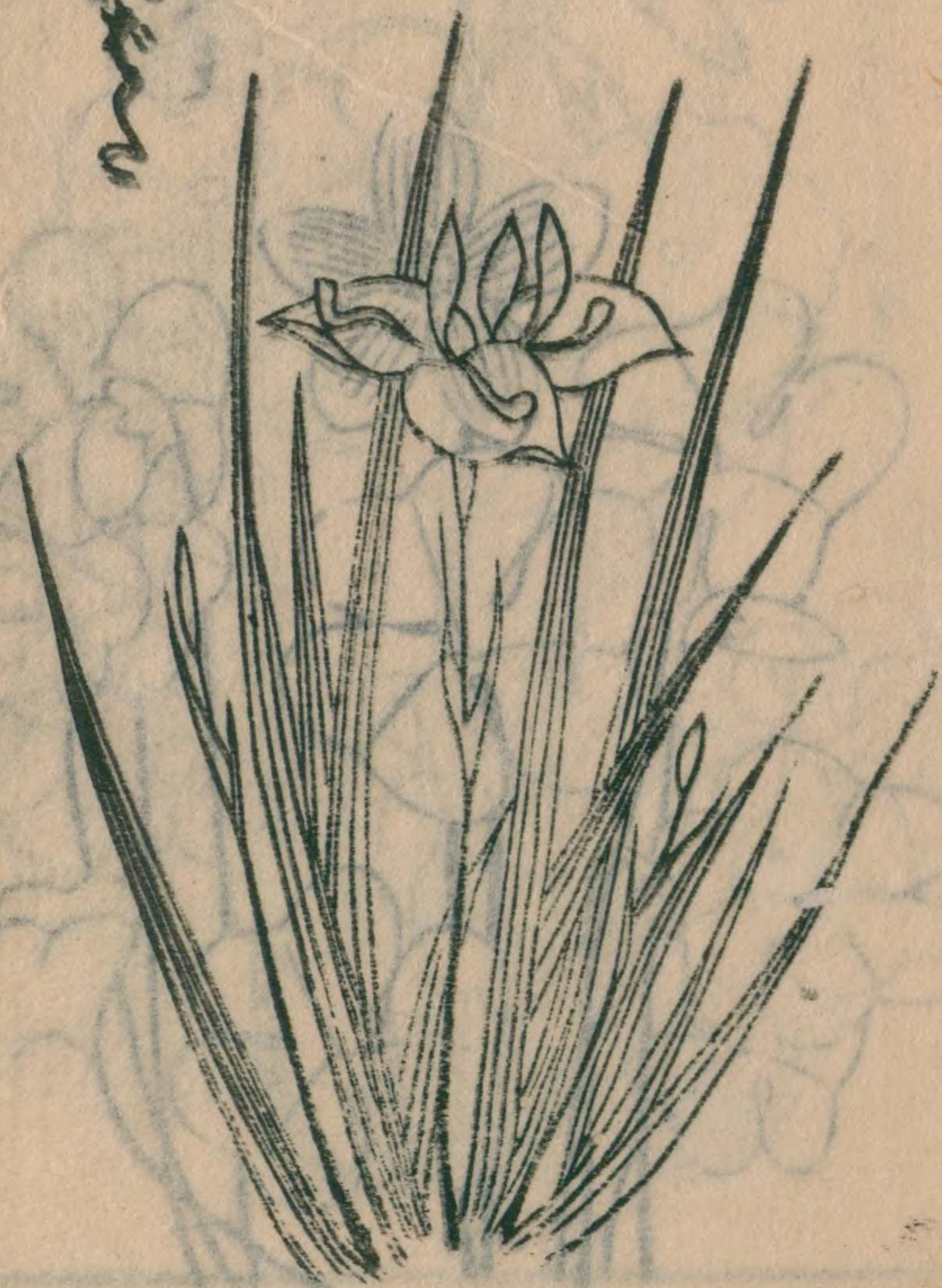
地錦抄 附録 卷一

四



地錦抄 16卷 附録 3卷

花



花

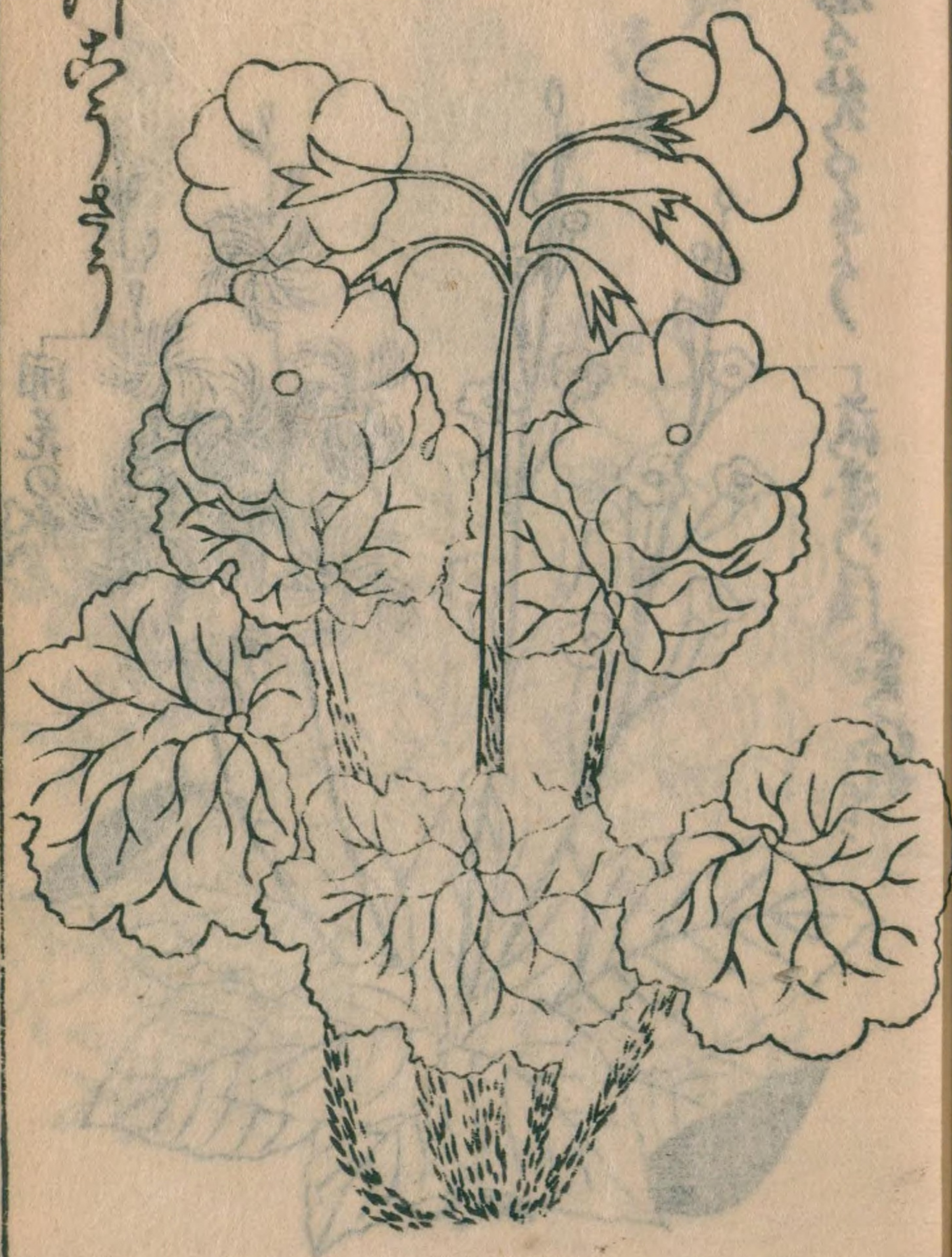


地錦抄 16卷 附録 3卷

花



加



加



地錦抄付録卷一



きんぎょ
あま

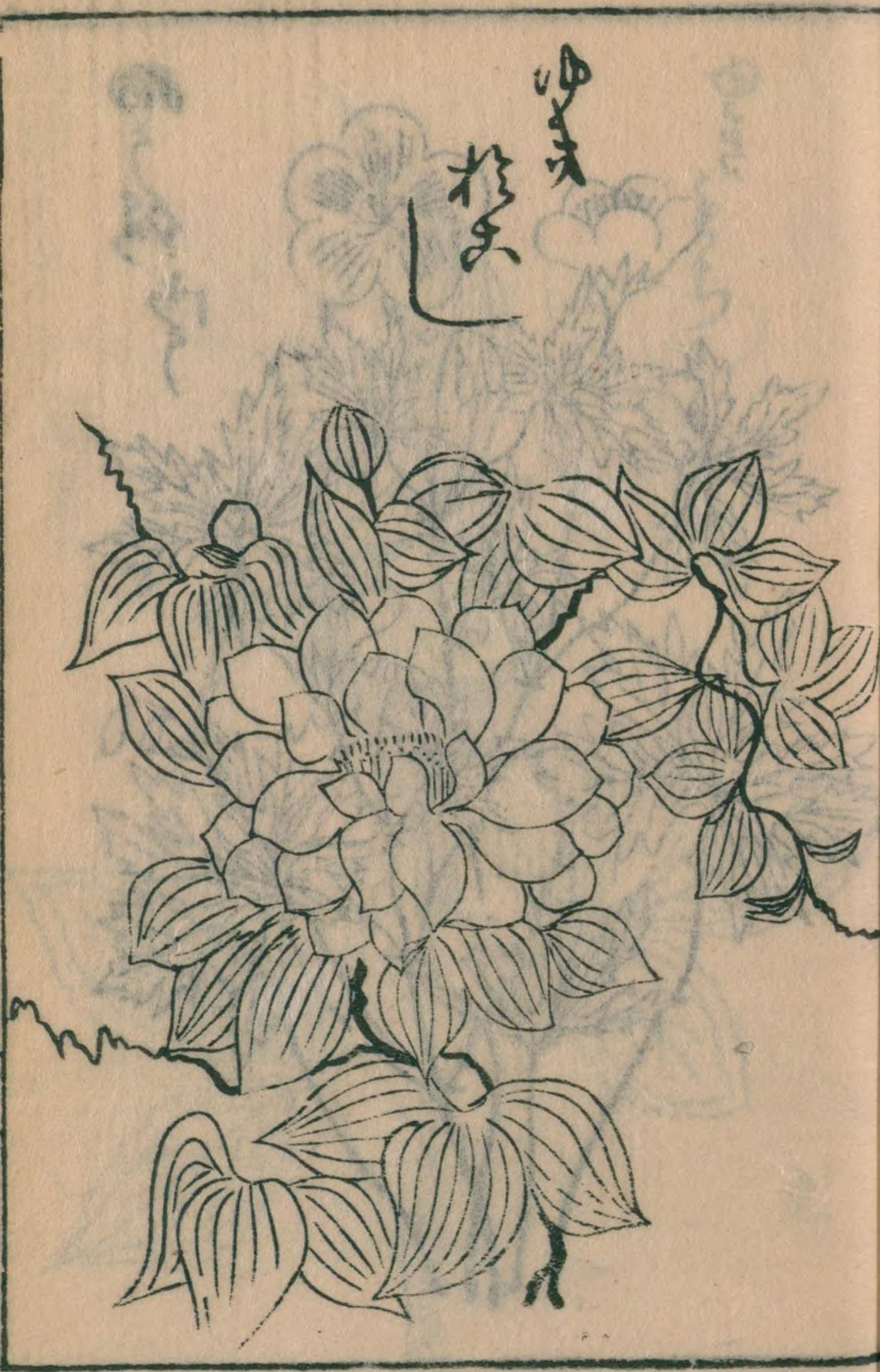


ちぢるぢるさう
はまのう
実化形

用花の形

地錦抄付録卷一







Handwritten Japanese text, possibly a name or description, written vertically in the upper right corner of the illustration area.



Handwritten Japanese text, possibly a name or description, written vertically in the upper right corner of the illustration area.

地錦抄 16卷附録3巻

地錦抄 16卷附録3巻



地錦抄付録卷一



夏うららめ



夏うららめ

地錦抄付録卷一





白くまのぼたん

げんごぼたん



地錦抄附録卷一



花のしらべ
五五五
年



地錦抄附録卷一

三十三

三十三



地錦抄 卷一

廿四

山見草
桐草



打んきん少楼



地錦抄 卷一

廿五

24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46



地錦抄付録卷一

五



あまのつばき

地錦抄付録卷一

五



地錦抄附録卷二

五十六

えびき
ん



えびき

地錦抄附録卷二



地錦抄附録卷一

二

二
三
四



一
二
三

地錦抄附録卷一

二



24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46



みんじん



みんじん

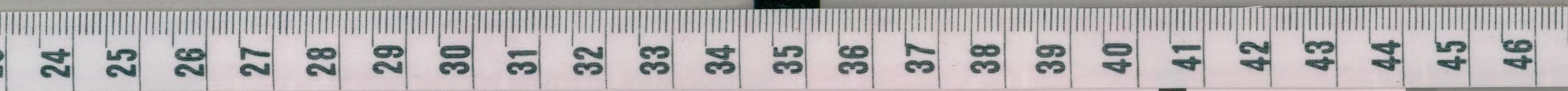




シクハ
娘



シクハ
娘





きんぎょ
一名金梅草



きんぎょ



ニラがし



まらん



地錦抄附録卷一



花のつぼみ
さくらんぼ

花をとり



さくらんぼ
つぼみ

地錦抄附録卷一

三



地錦抄附録卷一



いさぎよの花

いさぎよ



地錦抄附録卷一



地錦抄附録卷一

あしひら



四

あしひら

あしひら
あしひら



地錦抄附録卷一

四





きんぎょ
ごうご



あんろんさき



カサネ
カサネ



カサネ



地錦抄付録卷一



あやめ
たん



あやめ
たん

地錦抄付録卷一

あやめ





三十八



十五城
おろし



185
20
133

地錦抄附録卷一

葉もあつたさあぐはみ見物りの花軍 ちてつたぐ
みはそくがくぐとくに落玉あつたて物所をみくく
号を繪^え去^くい畫^が工^うも筆^で成^らるやせぐー享保八年に公傍
より初とある枝を切しけしてうくはくをいぬ
三つふれ十月比日向とまあに極くはりゆい
ひ^ひぬ^ぬれ^れ成^成るやせぐー^後か^かの^の日^日を^を登^登れ^れる^る時^時は^は日^日を^を
はぐー^あつ^つた^たさ^さあ^あぐ^ぐは^はみ^み見^見物^物り^りの^の花^花軍^軍 ち^ちて^てつ^つた^たぐ
三月中旬比砂^{すな}ま^まと^とめ^めて^て神^{かみ}木^きの^の伸^のず^する^る又^{また}い^い夏^{なつ}の^の度^{たび}
け^けな^なあ^あつ^つた^たさ^さあ^あぐ^ぐは^はみ^み見^見物^物り^りの^の花^花軍^軍 ち^ちて^てつ^つた^たぐ

地錦抄附録卷之一終



185

東 京 圖 書 館

和書門

音樂類

函

架

號

冊

135

2

1

1

3

1

0

架

號

冊

